

医科研病院だより



第42号

発行：東京大学医科学研究所附属病院
平成31年1月15日
〒108-8639 東京都港区白金台4-6-1
代表電話03-3443-8111
ホームページ <https://www.h.ims.u-tokyo.ac.jp/>

CONTENTS

病院職員の皆様	1
すこやか・カフェ	2
栄養サブリ	3
なんでも・ひろば	4

病院教職員の皆様

病院長 東條 有伸

年頭にあたり、ご挨拶申し上げます。

昨年は、全国的に地震や豪雨、台風、猛暑などの自然災害が多く、政治や経済を含めて国内外が混迷に満ちた年でした。日本漢字能力検定協会が毎年発表している一年の世相を表す漢字は「災」であったことも肯けます。日本の元号が変わり、当院にとっても新たな一步を踏み出す今年は、転じて「福」となることを願ってやみません。

平成は30年の歴史に幕を下ろしますが、医科学研究所(医科研)は、一昨年の創立(1892年11月)125周年を超えて、新たな歴史を刻む一步を踏み出したところです。私が嘗てお世話になった小高 健元医科研所長(名誉教授)の著書『感染症研究所-近代医学開拓の道のり』によれば、1893年6月に制定された感染症研究所(医科研の前身)規則に、学術部と治療部を置くこと、とあります。すなわち、創立当初から研究所と病院は一体であったことが伺えます。村上所長の年頭のご挨拶にもありますが、本年は、研究(ノ)

(ノ)所と病院が一丸となって、医科学研究の成果を先端医療の開発につなげ、社会に還元する(患者さんにお届けする)ことを再確認する重要な年になります。そして、2月に再稼働する5階病棟は、先端医療の展開をミッションとする医科研病院のまさしく顔となる存在として位置づけられます。さらに、本年は、本郷の東大病院のみならず、従来の連携病院ともその関係をより密接にして医科研病院の診療を強化し、われわれのミッションを達成するため、全力を尽くさなければなりません。

国内のみならず海外の患者さんにも喜んでいただくため、医科研病院は先端医療に邁進いたします。そのために、まず皆様一人一人が病院に対して何ができるか自問自答していただきたいと思います。そのうえで、どうぞ皆様のお力をお貸しください。私は、病院長として、その先頭に立つ所存です。

最後に、今年一年の皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。

2019年1月
病院長 東條有伸



病院クリスマスコンサートが開催されました

12月5日(水)に病院8階トミーホールで、恒例の病院クリスマスコンサートを開催いたしました。今年も聖心女子学院中等科・高等科の有志の皆さんが合唱、ダンス、演奏などを披露してくれました。日頃の練習の成果を発揮していただき、参加者も交えた合唱などもあり暖かい一時を過ごすことができました。



すこやか・カフェ



がん免疫療法に対する正しい知識

ALA先端医療学社会連携研究部門 総合診療科
土方 康基

皆様こんにちは。2018年ノーベル生理学・医学賞を本庶佑先生が受賞したことは記憶に新しいことと思います。本庶先生はPD-1という免疫反応を負に制御するタンパク質を発見され、これまでのがんに対する治療法を大きく変えることになりました。がん患者さんに抗PD-1抗体というお薬を投与すると免疫のブレーキが解除され、自分の免疫が、がんを攻撃・排除することがわかったのです。

ここでは「がん免疫（細胞）療法」についてお話をしたいと思います。私達は長年がん免疫療法の基礎研究や臨床試験に携わってきました。初めの頃は何やら怪しいことをやっていると揶揄されることも多く、学会では片隅の方でほそぼそと発表をしていたものです。しかし、今ではがん関連学会に行くとがん免疫療法の分野が半分以上占められメイン会場には立ち見が出るほど注目を浴びています。

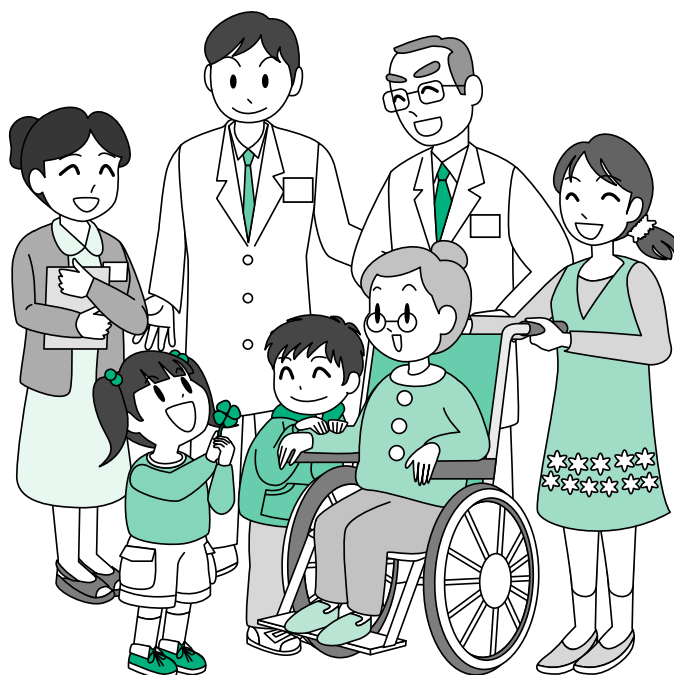
一方で、巷には実に怪しい免疫（細胞）療法が横行していますので、ご注意ください。がん治療のトレーニングをまともに受けたこともない専門分野の異なる医師やいい加減な民間医療機関が高額な費用で根拠のない免疫細胞療法を積極的に勧めています。がんに対する標準治療（最適な治療）の経験、知識が乏しいこともあり、それらを否定して免疫療法へ誘導するのです。しかし根拠のない免疫療法だけで効くはずがありません。実際、他の病院で主治医から唯一根治が期待できる手術を勧められているにもかかわらず、ある民間医療機関で手術をしないで免疫療法を受けよう勧められ、その通りにした結果、散々だった患者さん、また化学療法で延命できる可能性が高いのに副作用など怖い話をオーバーに説明され化学療法を否定し免疫療法に誘導された結果、効果を認めず当科を訪れる患者さんが実に多いことに危機感を感じています。昔と違って手術や化学療法の合併症の予防方法が格段に進歩しており、抗がん剤も患者さん毎に副作用の様子をみながら量を調整するなど、生活の質（quality of life）を改善・維持できるようになっています。

ここまでくると私はアンチ免疫（細胞）療法なのかと思われるかもしれませんが、そうではありません。例えば血液のある種のがんに対しては8~9割以上と非常に高い効果を示すCAR-T細胞療法という有望な免疫療法があり、既に米国では承認された治療法です。ただめちゃくちゃ高価なのが問題なのですが…。このCAR-T細胞療法でも、血液がんタイプと異なる固形癌には思うように効果が出ていないのが現状です。こうした適応症や効能は適切な臨床試験（治験）を何度も経てわかってくるのです。つま（マ）

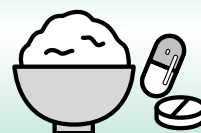
（マ）り巷の怪しい免疫細胞療法は適切な臨床試験を経ず、適正かつ公正な評価をせず効果を謳っていることが問題なのです。例えば抗がん剤や放射線療法などと併用して免疫療法を行っているにもかかわらずあたかも免疫療法だけで効果が出ているような誇大広告をよく目にしますので気をつけてください。

その他にもがん抗原特異的TCR遺伝子導入T細胞療法や腫瘍浸潤T細胞療法なども有効性が期待され臨床試験が行われています。私達もこれまでの基礎研究や臨床試験を基盤にした固形癌（上部消化器癌）に対する新しい免疫細胞療法の第Ⅰ相臨床試験を開始する予定です。ネオ抗原という個々の患者さんで異なるがん細胞にだけ発現しているタンパク質を標的とした免疫細胞療法です。これまで大学病院など多施設で行われてきたがんワクチン療法臨床試験では多くのがん患者さんに共通して認められる自己由来のがん抗原分子をがんの目印として利用してきましたが、期待されるような臨床効果は認められませんでした。これは自己と非自己を見分けて非自己を攻撃する免疫にとって、自己由来の抗原は目印として分かり辛いものだったのでしょう。今回私達が利用するネオ抗原は遺伝子変異によって新たに出現した異物（非自己）であり免疫にとっては格好の標的になると考えられます。対象患者さんは標準治療不応となられた患者さんですが、安全性をまず確認する試験です。効果は未定なものです。次の第Ⅱ相臨床試験が終わればある程度の有効性がわかってきますが、効果がない可能性も十分あります。

がん免疫療法など相談されたい方は当科でお話を伺いますのでお気軽にご連絡ください。



栄養サプリ



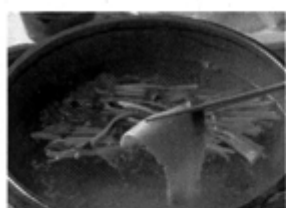
体に**美味しい** **ぽかぽか鍋**



旬の食材で美味しく
体調を整える
お鍋のご紹介です

栄養管理室

魚をシンプルに食べたい方 必見! ブリとセリのしゃぶしゃぶ



材料(2人分)

- ・ブリ(刺身用/さく): 200g
- ・セリ: 100g
- ・昆布(10cm四方): 1枚
- ・ポン酢しょうゆ: 適量
- ・青ねぎ(小口): 適量
- ・生姜(すりおろす): 適量

(1人分/300kcal)

作り方

- ①土鍋に約1リットルの水と昆布を入れ、30分以上浸しておく。
- ②セリは根元を除いて5cm長さに切り、ブリは薄切りにして、それぞれ皿に並べる。ポン酢は、小皿に用意しておく。
- ③①を中火にかけ、沸騰直前で昆布を取り出す。セリとブリを軽くぐらせて(お好みで青ねぎや生姜と共に)ポン酢をつけて召し上がれ。

★ブリは身の表面が白くなる程度にくぐらせましょう。
ポン酢しょうゆに数種類の柑橘を加えても美味しいです!

疲れた胃をカブの甘みで温めます♪ 鶏肉とカブのみぞれ煮



材料(2人分)

- ・カブ: 4個
- ・水炊き用鶏骨付肉: 200g
- ・鶏手羽先: 2本(150g)
- ・生姜: 大1/2かけ(薄切り)
- ・好みの柑橘(すだち等): 適量
- ・塩・オリーブ油: 適量

(1人分/280kcal)

作り方

- ①鶏肉は塩小さじ1/2を全体にまぶし、よくもみ込んでおく。そのまま30分~1時間ほどおく。
- ②カブは茎を少し残して切り落としよく洗う。半分は皮ごと一口サイズに切り、残りは皮ごとすり下ろす。
- ③鍋にオリーブ油大さじ1/2を中火で熱し、鶏肉を入れ焼き、全体に焼色が付いたら取り出す。鍋に残った油で、切ったカブを入れ焼色が付いたら取り出す。
- ④③に鶏肉を戻し、生姜と水カップ3を加え蓋をして、弱火で30~40分間煮る。焼きつけたカブも加え柔らかくなるまで更に10~15分間煮る。最後にすったカブを加えサツと煮立てて、塩で味をととのえ、好みの柑橘を搾って完成。

★焼き付けたカブは香ばしく煮崩れにくくなります。
すりおろしたカブは全体をまろやかにまとめます。

不足しがちな野菜をたっぷりとれます★ 華風肉団子煮込



材料(2人分)

- | | | |
|-----|-----------------|--------------|
| (A) | ・豚ひき肉: 120g | ・白菜: 200g |
| | ・玉葱(みじん切り): 80g | ・ねぎ: 40g |
| | ・生姜(みじん切り): 少々 | ・乾燥きくらげ: 2g |
| | ・卵: 6g | ・片栗粉: 10g |
| | ・片栗粉: 10g | ・はるさめ緑豆: 15g |
| | ・酒・塩: 少々 | |

(1人分/250kcal)

作り方

- ①Aをよく混ぜ肉団子にする。
- ②Bと水カップ2を鍋に入れ沸いたら白菜、ねぎ、乾きくらげを加える。煮えてきたら①を加え更に煮こむ。
- ③肉団子に火が通ってきたら、はるさめを入れ、柔らかくなったところでごま油を垂らし、香りがたったら完成。

★肉団子をカキに代えても美味しいです。
しっかり火を通して召し上がれ
(ノロウイルスに御注意)

- | | | |
|-----|------------|-------------|
| (B) | ・砂糖: 1.5g | ・酒: 2.5g |
| | ・味醂: 2.5g | ・醤油: 15g |
| | ・ごま油: 2.5g | ・中華の素: 1.5g |



日韓医療事情

感染免疫内科 林 阿英

初めまして、医科研病院のどこかでバタバタしている韓国出身の林です。

気づけば日本に来て5年、医師の仕事はどこの国も特に違うことはありませんが、やはり国も人々の性格も違い、病院の雰囲気はかなり違うと思います。そこで、拙筆ですが、日本とは違う韓国の病院事情のいくつかをご紹介します。

全体的に韓国の病院は日本の病院に比べて物騒がしい（良く言うとイキイキですが）。この中でも、若い医師たちの医局、救急センター、病棟、葬式会場は最も違うところかなと思います。大型総合病院はまるで巨大なコンビニです。外来フロアの他は24時間動いてるし、病院にて住み込みで働くレジデントを含め、医師以外の全職種がローテーション勤務をしています。住込み中のレジデントの医局はまるで運動部の合宿所です。住込み中なのに若い医師たちはなぜかいつも忙しいです。彼らは時間の感覚のズレがあるので世間の真夜中に迷惑を掛けることを普通だと思いがちが多いです。（2番目の救急センターについては特徴ありすぎてパスします。苦笑）

次は病棟です。日本のような完全看護ではなく、家族や専門の看病の付き添いが必要です。これは、システマ的な理由もありますが、かつて韓国では患者を一人で寂しくさせない、患者は少しわがまましても良いから家族がサポートする側面があるからだだと思います。そこで、もう一つの合宿所が生まれます。特に大部屋の場合はプライバシーゼロです。まず、全てのベッドに家族用の簡易ベッドが併設されています。入院の付き添いが初めての人もなぜか慣れた手つきで身の回りのお世話をしています。また、付き添いの食事は当然ないため、病棟には簡易給湯室があります。なぜかテレビと大きな冷蔵庫は共用ですので、食事時間になるとみんなテレビを一緒に見ながら晩餐会をやっています。食事時間以外もベッド間のカーテンはいつも開放されていて（就寝、処置の時以外）、患者同士も付き添い同士

も気軽におしゃべりしたり、カードゲームなどをしたりするので、大部屋にはなかなか一人で静かにお休みするのは難しいかもしれません。韓国人は‘病気の患者を励ましたい’、‘元気をあげたい’との気持ちが強いので、患者が入院すると見舞客が多いです。もちろん、消灯時間なく病院玄関の施錠をしない病院が多いので、面会時間の制限もありません。寂しがりには最適どころですが、周囲への配慮に欠けると感じる人もいます。やっと眠れるようになると、韓国の朝のカンファレンスは8時前に終わるのが普通なので、朝が早いんです。7時半ごろまで採血結果を確認できるようにするために、先の合宿所の若い医師は真夜中から就寝中の患者さんの採血や処置などをしたりするので静かに休むのは無理かもしれません。やはり物騒がしい…。

最後に最も祭りの場所、葬式会場です。韓国の総合病院には必ず葬儀場が併設されています。お葬式は3日間かけて、故人の宗教に沿って葬儀をします。宗教により形式は様々であるが、3日間、時間問わず弔問客が訪れます。お見舞いと同様に夜でも、深夜でも、早朝でもです。挨拶、焼香が終わった弔問客は、式場の別室で盛り上げるためにワイワイ騒いで酒飲みながら夜を明かす雰囲気です（悲しみを乗り越えるためらしいです）。

以上で簡単ですが、日本の病院と最も違うところの紹介でした。少しカルチャーショックを感じる面もあるかと思いますが、経験してみると意外と楽しいかもしれません。

これからも変なテンションの林が病院のどこかをウロウロするかもしれませんが、よろしくお願いたします。

◆病院からのお知らせ◆

●臨床検体の取扱いにつきまして

当院での保存・追加採取検体を用いた臨床研究名をお知りになりたい方は

http://www.ims.u-tokyo.ac.jp/ore/IMSUT_ORE_7.html をご覧ください。

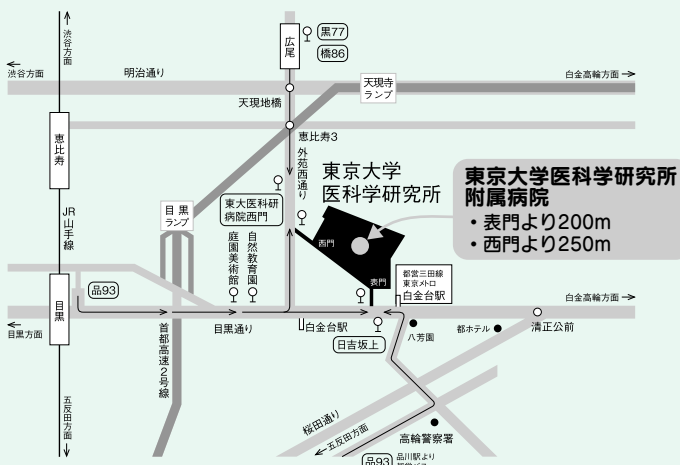
東京大学医科学研究所附属病院・ご利用案内

診療科

内科（総合、血液腫瘍、感染症、アレルギー・免疫、消化器）

外科（一般、腫瘍、消化器、乳腺）、整形外科（関節）

脳腫瘍外科、放射線科、麻酔科、遺伝相談



外来診療日

月曜日～金曜日（祝日および年末年始を除く）

診療受付時間

8：30～11：30（初診・再診）

12：30～16：00（再診のみ）

※予約時間の15分前までに受付にお越しください。

（確実にご受診いただくために、ぜひ予約をお取りください）

予約専用電話（予約受付および変更）

診察：03-5449-5560

検査：03-5449-5355

受付時間 8：30～17：00（外来診療日のみ）

アクセス

- 東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線で「白金台駅」下車
- JR 山手線目黒駅東口から都バス品93大井町競馬場行で「白金台駅」下車、あるいは都バス黒77千駄ヶ谷行か橋86新橋駅行で「東大医科研西門下車」、または駅より歩いて約15分、タクシーで約5分（1メーター）
- JR 品川駅から都バス品93目黒駅行で「白金台駅」下車
- 東京メトロ日比谷線広尾駅から都バス広尾橋から黒77または橋86目黒駅行で「東大医科研病院西門」下車